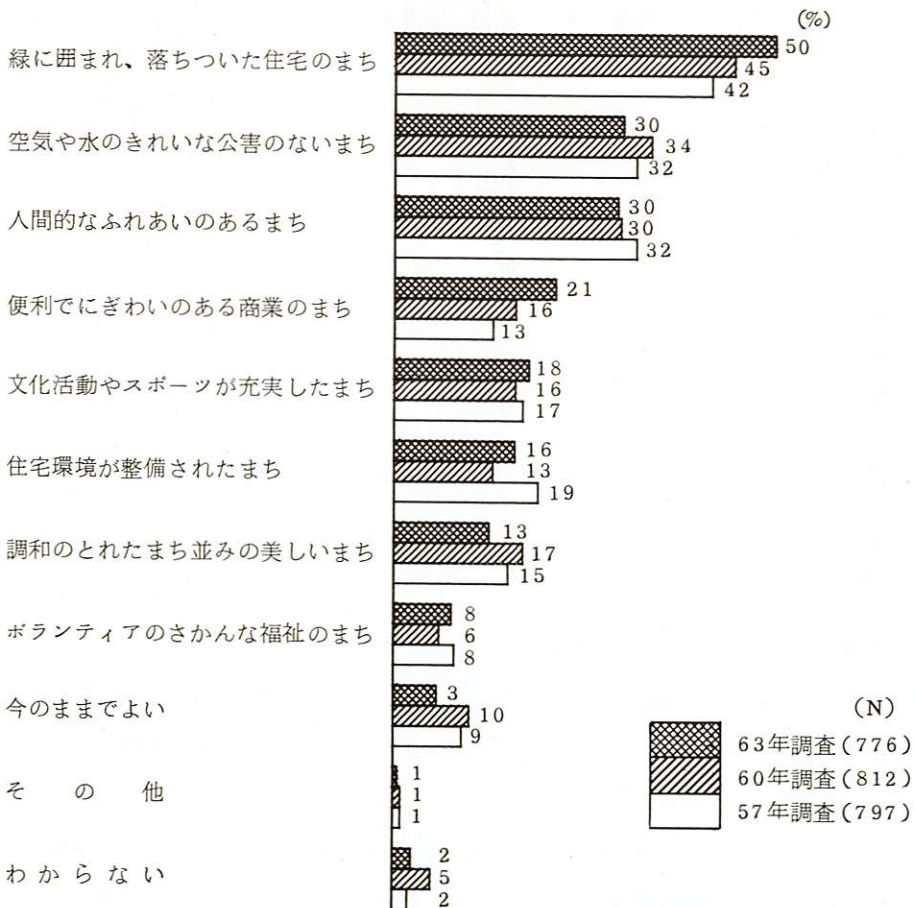


3. 福生市の将来像

3-1 福生市の将来像

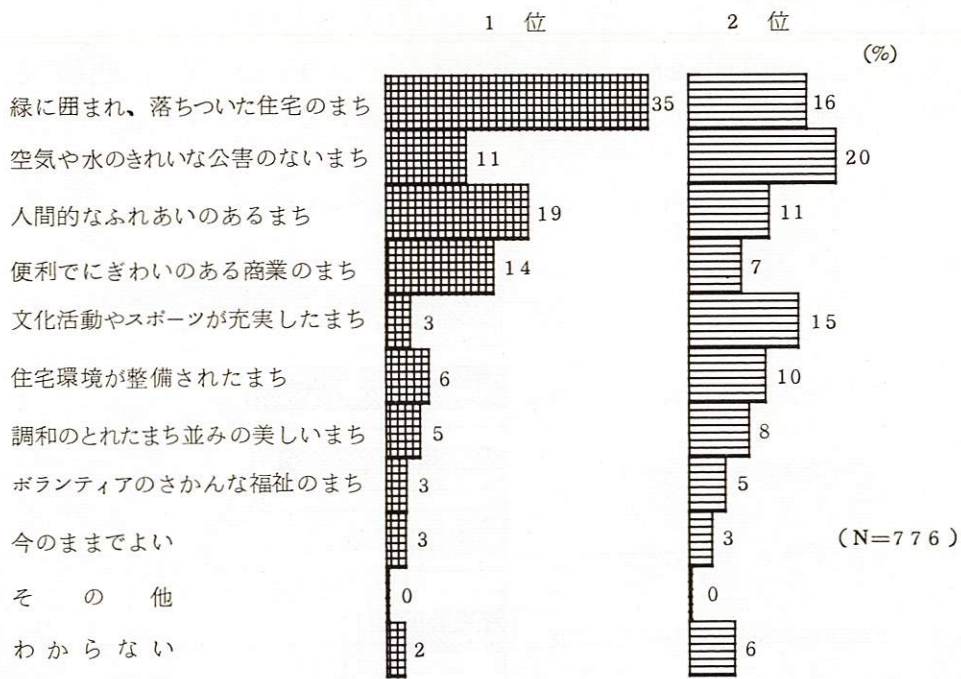
Q 5. 「カード」 ところであなたは、将来の福生市がどのようなまちであってほしいと思いますか。
希望するまちに順位をつけて、2つあげてください。まず第1位は…… 第2位は…… (M.A.)

図3-1. 将来像 (「第1位」+「第2位」)



福生市の将来像がどうあってほしいかを順位をつけて答えてもらったところ、第1位としては、「緑に囲まれ、落ちついた住宅のまち」が35%と最も多く、第2位としては、「空気や水のきれいな公害のないまち」が20%と最も多かった。1位と2位の合計を時系列比較でみると、「緑に囲まれ、落ちついた住宅のまち」は57年調査から増加傾向にあり、一方、「便利でにぎわいのある商業のまち」も同様な傾向にあり、「住宅都市」を希望する市民と「商業都市」を希望する市民の二極化が進んでいるといえよう。しかし、上

図3-2. 福生市の魅力



位3位は57年より変化はなく、市民は「自然環境に恵まれたふれあいのあるまち」を望んでいることがわかる。

これを地域別にみると、「緑に囲まれ、落ちついた住宅のまち」は全市的な希望となっているが、特に、C、団地、Bブロックで半数を上回り、「空気や水のきれいな公害のないまち」は、前回と同じく、団地ブロックに多くなっている。その他の特徴としては、「便利でにぎわいのある商業のまち」がAブロックで、「ボランティアのさかんな福祉のまち」がFブロックでそれぞれ高くなっていることがあげられる。

ライフステージ別にみると、家族成長後期までは「緑に囲まれ、落ちついた住宅のまち」が最も多くなっているが、それ以降の段階になると、「人間的なふれあいのあるまち」が「緑に囲まれ、落ちついた住宅のまち」より多いか、あるいは、拮抗しており、成熟した段階では人間的なふれあいが大切であるという考えが強くなっている。その他には、独身期に「便利でにぎわいのある商業のまち」が高くなっており、若い層の利便性、都会性志向がうかがえる。

表3-1. 将来像（地域別）（ライフステージ別）

（％）

	ある商業のまち 便利でにぎわいの	人間的なふれあい	緑に囲まれたまち 住宅環境が整備さ	住宅環境が整備さ	な公害の水のきれいまち	ボランティアのまち	まち並みの美しい	文化活動などが充	今のままでよい	そ の 他	わ か ら な い
N=776	21	30	50	16	30	8	13	18	3	1	2
Aブロック（106）	34	18	47	18	33	8	15	13	3	1	2
Bブロック（108）	19	34	54	18	32	6	8	13	5	—	2
Cブロック（92）	11	24	67	20	35	8	11	15	1	1	1
Dブロック（84）	21	29	45	13	25	5	11	20	7	1	5
Eブロック（113）	21	35	43	15	32	5	19	20	2	—	2
Fブロック（123）	26	33	50	11	27	13	7	20	1	—	3
Gブロック（150）	17	32	49	17	29	8	16	21	1	1	3
団地ブロック（100）	13	22	57	20	37	11	10	18	2	1	2
独身期（125）	34	14	54	12	28	7	18	24	—	—	2
家族形成期（154）	20	23	63	19	31	3	18	18	1	1	1
家族成長前期（132）	14	32	58	15	33	10	10	26	—	1	—
家族成長後期（79）	23	27	53	15	34	8	9	24	4	—	—
家族成熟期（167）	21	43	36	17	26	9	11	13	5	1	4
老齡期（48）	21	42	27	8	38	10	6	—	8	—	13
老人世帯（32）	16	41	44	19	28	13	3	—	—	—	6